

学習評価・評定について

2026(令和8)年4月 函館市立青柳中学校

1. 学習評価の目的

学習したことの意義や価値を生徒が実感できるようにするために学習評価があります。各教科で、学習内容や時間のまとまりを見通して、定期テストだけではなく、評価の方法や場面を工夫しながら、生徒個々のよい点や進歩の状況等を確認して1年間評価を積み重ねていきます。

2. 学習評価の実施

(1) 「**知識・技能**」、「**思考・判断・表現**」、「**主体的に学習に取り組む態度**」の3つの観点で評価します。

知識・技能について

学習の過程を通じた知識および技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既存の知識および技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかについても評価します。

主な評価の方法や場面

- 様々な筆記テスト
 - 定期(中間・期末・学年末)テスト・単元テスト・章テスト・小テスト 等
- 様々な実技テスト
 - 作図・実験・作業・制作・表現活動等の様子や状況の観察、道具や用具の扱い …等

思考・判断・表現について

各教科等の知識および技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価します。

主な評価の方法や場面

- 様々な筆記テストや実技テスト
- パフォーマンス評価
 - 論述、レポート、発表、話し合い、制作や表現等の多様な活動 等
- ポートフォリオ評価
 - ワークシート・ワークブック・ノート・作品・他提出物 …等

主体的に学習に取り組む態度について

各教科の内容の特質に合わせて、知識および技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた“粘り強い取組を行おうとする側面”と、粘り強い取組を行う中で“自らの学習を調整しようとする側面”の両面を一体的に見取って評価します。

主な評価の方法や場面

- パフォーマンス評価
- ポートフォリオ評価
- 自己評価・相互評価の内容
- 授業への準備・参加状況、発言内容 …等

単に継続的な行動や積極的な発言を行う等の性格や行動面の評価ではありません。

(2) 上記の3つの観点について、

- ・ 「A(十分満足できる状況)」
- ・ 「B(おおむね満足できる状況)」
- ・ 「C(努力を要する状況)」

の3段階でそれぞれ評価します。

そして、そのA～Cの組合せで右表のように5段階の評定へ結び付けます。

(3) 2学期の評価・評定は、年度始めから2学期末までの評価・評定とします。学年末は、1年間の総括的評価を行ったものとします。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評定
A	A	A	5
A	A	B	4
A	B	A	4
B	A	A	4
A	B	B	3
B	A	B	3
B	B	B	3
B	C	B	3
C	B	B	3
B	C	C	2
C	B	C	2
C	C	C	1

(4) 特別の教科「道徳」と、「総合的な学習の時間」の評価は、文章表現とします。